



# TEAM FUKUOKA NEWS 2022



福岡県選手団サポートニュース R4. 9.11 Vol.2

## 第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」(会期前競技)～2日目～

### 体操(体操競技)少年男子が決勝進出！少年女子の悔しさの分まで！！



野元選手(自由ヶ丘高校)の初日の演技

日環アリーナ栃木で行われている体操(体操競技)少年男女の2日目。前日に続き、高難度の技が繰り広げられた。この日、本県選手団は演技がなく、他県の順位決定を待った。その結果、少年女子は決勝進出とはならず涙を飲んだ。しかし、悔しさの中にも清々しさのある表情は力強く、この悔しさを来年に繋げてくれることを確信することができた。

一方、少年男子は決勝進出が決定。9月13日(火)に実施される決勝への意気込みも十分。少年女子の想いも背負って力を出し切ってほしい。

### 弓道成年男女、近的では決勝進出ならず。この悔しさを男子の遠的決勝に！！

ユウケイ武道館で行われた弓道競技2日目。本県成年男女は近的の予選に臨んだ。

成年女子は、予選2回目終了時点で福岡県、青森県、岩手県、北海道の4道県が同点となる展開に。決勝進出8枠目(最後の1枠)を懸けて行われた決定戦の末、惜しくも決勝戦への切符を逃した。

成年男子は、前日の遠的予選突破の勢いに乗りたところであったが、得点が伸びず近的の予選突破は叶わなかった。試合後、国体初出場の成年男子渡邊彰文選手(サンパック(株))は、「なかなか練習通りにいかなかった。来年は同じメンバーになるかわからないが、今大会の経験が次につながると思う」と前向きなコメントを残してくれた。

本県選手団の控え室での雰囲気や、互いの種別を懸命に応援する様子などから、チームワークの良さを窺うことができた。12日(月)の成年男子遠的決勝でも、「TEAM FUKUOKA」を胸に、全員で戦ってほしい。

### アーティスティックスイミング少年女子、ベストを尽くすも総合12位

日環アリーナ栃木屋内水泳場にて行われたアーティスティックスイミング少年女子。強豪ひしめく中、本県選手団もベストを尽くし、華麗な演技を見せた。テクニカルルーティン競技・フリールーティン競技の合計得点で順位が決まるアーティスティックスイミング。結果は総合12位となった。

#### ○久喜由美子選手(県立福岡工業高校3年)

「始めは少し緊張しましたが、楽しんで演技することができました」

#### ○塩見和奏選手(筑紫女学園高校3年)

「国体で演技することができて嬉しかったです」

そう語る高校3年生ペアの、「やり遂げた！」という表情が印象的であった。



弓道成年男子



弓道成年女子



久喜・塩見ペア

アーティスティックスイミング少年女子

## ～TEAM FUKUOKA 今後の予定～

- ・弓道遠的(成年男子)決勝競技…9月12日(月)
- ・体操競技(少年男子)決勝競技…13日(火)
- ・飛込(少年男女)高飛込、飛板飛込決勝競技…13日(火)、14日(水)
- ・新体操(少年女子)…18日(日)・19日(月)
- ・競泳(全種別)…17日(土)～19日(月)